



光除菌で優れた効果を発揮するブルーデオS型が、新型にリニューアル。新フィルターにより大幅に消臭能力がアップした上、近紫外線LEDの採用により、さらに省電力化に成功した。

500ccペットボトルと同じ大きさで、重さはその約半分。USB電源なので、どこでも持ち運べる。また、音も静か、見た目もおしゃれなので、いつでも取り出して気兼ねなく使える。

AkariAir (アカリア)

価格2万4200円

空気清浄機と灯りが一体化したポータブル空気清浄機。国際的なデザイン事務所「カロツ エリア・カワイ」によるデザイン。色は黒と白の2色。



NewブルーデオS型

価格2万9480円

「臭い」「花粉」「ウイルス対策」には、これ1台。A4サイズ、重さ約1.3kgとコンパクトな筐体に、国際宇宙ステーションに採用された最先端の「光除菌」技術を搭載。また、洗える集塵フィルターの採用で、フィルター全て交換不要。

場所を取らない コンパクトな除菌事情 3

文/モノ・マガジン編集部

新型コロナの流行以来、身の周りの空気環境に対して関心が高まっている。自分の周りにウイルスがないか気になるのは、もはや当たり前になってきた。今回紹介する「AkariAir (アカリア)」と「新型ブルーデオS型」は、軽量コンパクトで場所を取らずに空気環境を整える優れモノ。これを作ったのは、福岡県にある溶接・溶射・特殊製造などを行うフジコーという会社。金属表面処理の基本技術をベースに、「資源のリサイクルと環境保護への貢献」をモットーとして、事業を拡大してきた。この金属加工と光除菌の技術が結び付き、画期的な空気清浄機が生まれたのだ。AkariAirは、500ccペットボトルほどの大きさなので持ち運び簡単、出先で使用できる利便性がある。また「灯り」機能が付いていて、LEDにより、なんともいえない癒しの光をともし、製品形状は、めずらしい五角形を採用。その為、手に握りやすく、また、様々な角度で置くことができる。新型ブルーデオS型は7月1日発売の新製品で、現行で発売中のブルーデオS型のバージョンアップ版。こちらは据え置きタイプのモノだが、A4サイズと雑誌くらいの大きさなので場所を取らない。現行型より大幅に消臭能力をアップし、近紫外線LEDを採用することによって省電力化に成功した。これを機に、身の周りの空気環境を考えてみてはいかが？